

## スーパーグローバル大学創成支援事業 令和6年度事後評価結果表

大学名	岡山大学
整理番号	B09
構想名	PRIMEプログラム：世界で活躍できる「実践人」を育成する！

### ◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価（公表用）

（総括評価）  <b style="font-size: 2em;">B</b>	事業目的はある程度達成されているが、今後の発展のためには努力が必要と判断される。
（コメント） 事業期間全体において、PRIME（Practical Interactive Mode for Education）プログラムをコアとしつつ、多様なプログラムを提供することで、グローバル人材の育成を推進するものとなっている。具体的には、自大学内においても学生がグローバルな現場を体験できるような体制を整備し、グローバル実践型教育を全学展開することで、社会課題を発見・解決する実践人を育成できるものとなっている。 事業展開に当たっては、国際的な通用性を意識した学部のリベラルアーツ教育を実施すると共に、JICA や米商務省、企業といった多様なリソースを活用した大学院レベルの教育プログラムの開発、さらには UNCTAD との連携などに積極的に取り組んできた点は評価できる。 また、大学院予備教育特別コースから大学院への進学に繋げる仕組みが形になってきていることや、グローバルキャンパスを実現する上で必要な人事制度が構築されていることなど、今後さらなる発展が見込まれる点も期待できる。 一方で、独自目標である「グローバル MP コース入学者数」の達成度が低い点をはじめ、様々な成果指標に定める目標に関して、十分な実績を上げることができなかったことは残念である。また、職員の英語力を向上させたり、教職員の国際性を高めたりするという観点ではさらなる対応が望まれる。 今回の事業を通して国際化を推進するための基盤整備はできたように見受けられるため、本事業期間中に実現できなかったことも含めて、ぜひ今後の事業（大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業、大学の世界展開力強化事業等）で実り多い成果を上げていくことを期待したい。 最後に、スーパーグローバル大学創成支援事業による補助期間は終了したが、引き続き徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行い、我が国社会の国際化の牽引に寄与されることに期待する。	